

チーム：遊園地らしさを
ドンドンチャックとララちゃんの
楽しく見える化



アミューズメント部



①滑りやすい場所の見える化

【課題】床で滑ってしまうヒヤリハット年間約50件発生

【対策具体例】

- ①エリアに入る前に案内看板を見せて、注意喚起をする



- ②注意しながら進むことが出来る



【使用案内看板】

- ・傾斜で発生する転倒を注意する案内看板



- ・階段で発生する転倒を注意する案内看板



【お客様の行動と結果】

- ・事前に滑りやすいことを知り、意識してゆっくり歩く。
- ・写真のドンチャックがアイキャッチとなり、注目する。

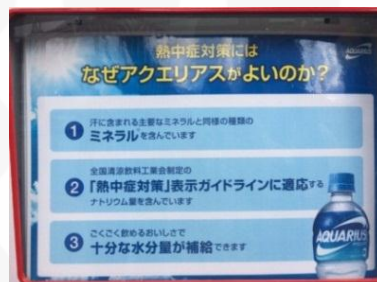
⇒滑るヒヤリハットが激減

②熱中症予防の見える化-1

【課題】お客様の熱中症対策

【対策具体例】

- ①自動販売機設置会社に協力依頼し園内各所の自動販売機広告部分に熱中症に関する看板を設置



- ②飲み物を購入する際に、熱中症を意識して購入することが出来る



2~3台置きに案内看板を設置



【お客様の行動と結果】

- ・水分補給が大切なことを認識し、水分を沢山取る。
- ・熱中症対策に効果的な飲料を購入する。

⇒熱中症予防に貢献した

②熱中症予防の見える化－2



②熱中症予防の見える化－3



【課題】 お客様の熱中症対策

【対策具体例】

- ①各アトラクション看板に注意喚起案内看板を貼付



【使用案内看板】

熱中症のリスクが、どのくらい上がるかを事前に把握できる

今の待ち時間でどのくらい水分補給をすればいいのかな…?

熱中症にならないように、水分補給をしっかりとしよう!

待ち時間	目安の水分補給量
10分待ち	85ml
20分待ち	170ml
30分待ち	255ml
40分待ち	340ml
60分待ち	500ml

- ②待ち列に並ぶ際、熱中症対策を意識



【お客様の行動と結果】

- ・どのくらいの水分量を補給することが必要か把握でき、適正な水分量を補給する

＝熱中症予防に貢献した

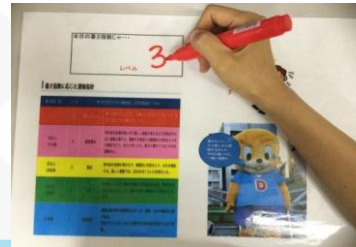
【課題】 スタッフの熱中症対策

【対策具体例】

- ①暑さ指数に照らし合わせ、熱中症レベルを比較する

暑さ指数(度)	レベル	熱中症予防のための運動指針(日本体育協会(1994))
31以上	5	運動は原則中止。暑さ指数が31以上では、夜間涼より気温の方が高くなる。特別な場合以外は運動は中止する。
28以上 31未満	4	熱中症の危険が高いため激しい運動や持久走など熱負荷の大きい運動は避ける。運動する場合には積極的に休息をとり水分補給を行う。体力の低いもの、暑さに慣れていないものは運動中止。
25以上 28未満	3	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では、30分おまくりの休息をとる。

- ②アルバイト控室に掲示し、毎朝記入しスタッフで共有



【使用案内看板】

暑さ指数に合わせた運動指針

暑さ指数	レベル	熱中症予防のための運動指針(日本体育協会(1994))
31以上	5	運動は原則中止。暑さ指数が31以上では、夜間涼より気温の方が高くなる。特別な場合以外は運動は中止する。
28以上 31未満	4	熱中症の危険が高いため激しい運動や持久走など熱負荷の大きい運動は避ける。運動する場合には積極的に休息をとり水分補給を行う。体力の低いもの、暑さに慣れていないものは運動中止。
25以上 28未満	3	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では、30分おまくりの休息をとる。
22以上 25未満	2	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では、30分おまくりの休息をとる。
19以上 22未満	1	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では、30分おまくりの休息をとる。
16以上 19未満	0	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では、30分おまくりの休息をとる。

暑さ指数に合わせた運動指針

熱中症のリスクが、どのくらい上がるかを事前に把握ができる

【スタッフの行動と結果】

- ・暑さ指数を把握することにより、水分補給等の対策をする

＝熱中症予防に貢献した